

宝のえにしに平幡八

(市内の貴重な文化財や自然などを紹介します)



(左)うっそうとした林内。木漏れ日を受けて噴流の波紋が光り、水草が揺れる (上)落差を利用した噴水もある

金沢清水とジャドスズ伝説

所在地 八幡平市松尾寄木第1地割1572-1 他

1985(昭和60)年、環境庁が定めた全国名水百選に選ばれた金沢清水は、座頭清水を主泉とする7つの湧水を総称した認定名称です。座頭清水は、毎分40ℓという全国有数の湧出量を誇り、水温は12℃前後で四季を通して安定しています。市が簡易水道の水源にしている別の湧き口は、水温9℃前後と最も冷たく、水温の異なる湧き口は他にもあります。ミネラル分も多い硬度63(mg/l)前後の軟水で、おいしい水の要件をことごとく満たすなど、質、量ともに全国に誇れる名水です。近くには岩手県内水面水産技術センターがあり、ニジマスやイワナなど淡水魚の増殖や試験・研究が行われています。

この泉、地域では『ジャドスズ』といい、その由来がいくつか伝わります。その昔、悪さをして目潰しを食らった鬼が、神に導かれて目を洗い、盲目を治したという『座頭清水伝説』、岩手山大滝の主七頭龍が地中にもぐり麓に頭を出したところで、湧き口は七つあるという『蛇頭清水伝説』などです。主泉のある林の中に山の神を祭った祠がありますが、南寄木の高橋市十郎さん(82)と金沢の伊藤嘉光さん(77)によれば、国有林だったこの地域には、大更まで森林軌道が敷かれ、泉のそばに沼宮内営林署の国見事業所がありました。神社は、その事務所を建てる時に、事業の隆盛と安全を願って営林署が勧請したもので、伝説との直接的な関係は無いのだといいます。とはいえ、この泉の迫力と神々しい佇まいは、きっと当時の人たちの心も動かしたに違いありません。

(文・市文化財保護審議会委員 畑謙吉)

- ＜参考文献＞
- ・松尾の文化財(1980.83・松尾村教委)
 - ・松尾村全国名水百選認定資料(1985・松尾村)
 - ・湧口と碑(1996・松尾村)

【広告】 この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

ホテル安比グランド

ご法事のご案内

偲ぶころ、大切なひととき。

一周忌・三回忌・七回忌…の年忌法要を、ホテル安比グランドが、心を込めてお手伝いさせていただきます。

会場イメージ



料理イメージ



法事料理 6,300円～(税込)

お気軽にお電話でお問い合わせください。

hotel **APPI** grand

ホテル安比グランド営業部

TEL.0195-73-6400 FAX.0195-73-5025
〒028-7396 岩手県八幡平市安比高原